

## ■ ポスター発表 6 (第 3 会場)

### 定点カメラを使用した矯正歯科治療について

香川県臨床アカデミー

○篠原愛未<sup>1) 2)</sup>、小川尊明<sup>1) 3) 9)</sup>、赤松秀規<sup>1) 4)</sup>  
今城広治<sup>1) 5)</sup>、西原裕<sup>1) 6)</sup>、森口善夫<sup>1) 7)</sup>  
片桐幸大<sup>1) 8)</sup>、上里聡<sup>1) 2)</sup>

近年、デジタル機器の発達やインターネット回線の普及により、歯科機器もデジタル化が進んでいる。

矯正歯科治療では、歯列や咬合の状態を記録、診断するために口腔内撮影用カメラを用いて口腔内規格写真を撮影している。この写真を用いて歯科医師やスタッフで口腔内を確認して治療方針の検討などを行うのが一般的である。口腔内を直接確認するにあたっては、術者と介助者のみになり、同時に多くのスタッフに確認してもらうことは難しい。また遠隔地の場合はより難しくなる。

今回、口腔外からの定点カメラを用い、ディスプレイを介して同時に治療内容を確認できる方法を発表する。これは歯科用顕微鏡の倍率が低いものになり、移動式である。実際の状況を直接的に確認することで患者からも認識でき、診療内容の確認、スタッフ教育や通信を用いた治療にも使用することができる。

今回、歯科衛生士からの視点で定点カメラを用いた臨床について発表する。本法を用いることで、診療や診断が円滑に正確に行うことができる。



#### ■ 略歴

2021年 穴吹医療大学校 歯科衛生学科 卒業  
2021年 医療法人社団ゆずか こうざと矯正歯科クリニック 勤務

#### ■ 共同発表者

- 1) 香川県臨床アカデミー
- 2) 医療法人社団ゆずか こうざと矯正歯科クリニック
- 3) おがわ口腔外科クリニック
- 4) 赤松歯科医院
- 5) いまじょう矯正歯科クリニック
- 6) 医療法人社団 裕歯科クリニック
- 7) 医療法人社団 もりぐち歯科クリニック
- 8) かたぎり歯科クリニック
- 9) 香川大学医学部 歯科口腔外科